

一般財団法人岐阜市未来のまちづくり財団

令和5年度 事業報告書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

1 まちづくり活動支援事業

岐阜市らしい個性ある良好なまちなみの保全・創出や地域の活性化を図り、官民が連携してまちづくりを推進することを目的に、地域全体の景観まちづくり活動等を支援・啓発した。また、公共空間や民間の力の活用により、岐阜市未来のまちづくり構想で位置付けられたセンターゾーン全体ににぎわいを波及させるとともに快適性の創出及び回遊性の向上を図り、エリアの価値向上を目指して以下の業務を行った。

(1) 景観まちづくり活動支援業務

まちなかの再生や個性ある魅力的なまちなみの形成を目指し、『景観整備機構』として各種の事業を行った。

① 景観まちづくり活動の支援に関すること

岐阜市景観形成市民団体や中山道加納宿まちづくり交流センターの活用促進に取り組む地元団体等の動向を把握するため、役員会や打合せ会議等に出席し、各種取り組みに対して技術的支援を行ったほか、要請に応じてテーマに沿った専門家の派遣及び相談に対する助言や情報提供などを行った。

○技術的支援：役員会、総会、事業等への参加（計42回／5団体）

○まちづくりアドバイザー：登録者数19人（派遣実績1回）

② 景観まちづくり活動の啓発に関すること

景観まちづくりに関する情報収集に努めるとともに、住民主体のまちづくり活動を啓発する事業を開催した。

○景観まちづくり講演会

開催日時：令和6年2月18日(日)14:00～15:30

開催場所：中山道加納宿まちづくり交流センター

講師：早稲田大学創造理工学部社会環境工学科 佐々木葉教授

演題：景観と風景とデザインと ―地域発のまちづくりのかたち―

参加人数：38人

③ ぎふ景観まちづくりファンド助成制度のフォローアップに関すること

ぎふ景観まちづくりファンド助成を行った物件について維持管理状況の確認等を行った。

○助成承諾総数：127件（平成20年度～令和3年度）

内、財産処分制限期間*内の物件数：58件（令和5年4月1日現在）※助成後10年間

④ 民間主導のまちづくり支援に関すること

伊奈波エリアを中心とした地域で、歴史的な佇まいや文化・伝統を守り、継承できるまちにするため、地域への愛着を持つ人を育て、エリアの価値向上を図った。また、まちの魅力や守るべきものとそれら資源を活かした未来のまちの方向性を「カルティベートプログラム@ぎふ伊奈波」と称してワークショップや講演会を通じて言語化し、目的を共有した。

・ワークショップ①

開催日時：令和5年8月9日(水)19:00～21:00

開催場所：岐阜善光寺弘法堂ホール

テーマ：伊奈波の現状の特徴をまとめる(特徴整理、未来像ブレスト)

参加人数：13人

・ワークショップ②

開催日時：令和5年9月25日(月)19:00～21:00

開催場所：山本佐太郎商店 2階

テーマ：伊奈波の未来像を言語化する(参加者が描く未来像の言語化)

参加人数：12人

・ワークショップ③

開催日時：令和5年11月8日(水)19:00～21:00

開催場所：旧麩兵邸

テーマ：自分たちができることを企画する(アクションプランの検討)

参加人数：13人

・ワークショップ④

開催日時：令和6年1月11日(木)19:00～21:00

開催場所：岐阜善光寺弘法堂ホール

テーマ：企画の実現に向けた作戦会議(企画のブラッシュアップ)

参加人数：12人

・ワークショップ参加者が作成した目指すべきまちのイメージ

『伊奈波の心の拠りどころ“まちぐるみ家族”』(伊奈波エリアのミライ像)

・講演会①これからのまちの豊かさを学ぶ～“伊奈波暮らし”のつくりかた～

開催日時：令和5年12月8日(金)19:00～20:30

開催場所：みんなの森 ぎふメディアコスモス かんがえるスタジオ

講師：原 大祐氏 (Co. Lab代表取締役)

演題：これからのまちの豊かさを学ぶ - “大磯暮らし”のつくりかた-

参加人数：65人

・講演会②長野と岐阜 門前暮らしのススメ

開催日時：令和6年2月13日(火)19:00～20:30

開催場所：みんなの森 ぎふメディアコスモス かんがえるスタジオ

講師：倉石 智典氏 (株式会社MYROOM代表)

演 題：長野と岐阜 門前暮らしのススメ

参加人数：64人

(2) まちなか歩き回廊推進業務

「岐阜市まちなか歩き構想」に基づき、歴史ある岐阜の魅力に接し、心の豊かさが感じられる空間の創出、及び市内のまちなか歩き・まちなか観光を実現するため、ウォーキングイベントを行った。

○まちなか歴史クイズウォーク 信長公からの指令

開催日時：令和5年11月11日(土)・12日(日)9:00～16:30

開催場所：岐阜公園および周辺の史跡等(初級/上級の2コース)

参加人数：スタート受付 延べ3,416人(うち子ども 延べ1,670人)

ゴール受付 延べ2,363人(うち子ども 延べ1,129人)

※スタート受付は、初級と上級の指令書を同時に配布した。スタートの実人数は延べ人数の半数

2 中心市街地活性化事業

中心市街地の活性化と都市機能の増進を図るため、『中心市街地整備推進機構』として、岐阜市中心市街地活性化基本計画に基づく各種事業等を行った。

(1) 中心市街地活性化推進業務

柳ヶ瀬商店街、まちづくり団体など、まちの魅力となるコンテンツの創出に向けた各種の取り組みについて、動向の把握に努め、その進捗を後押しするための技術的支援(助言・調整)を行うとともに、各種活動状況を記録して情報発信を行った。

また、中心市街地の日常の消費を支える居住者を確保するため、まちなか暮らしを後押しする補助金の相談対応等を行った。その際、平日に加え、土日祝日の受付窓口を利便性の高い柳ヶ瀬エリアに設けることで事業を促進した。

○中心市街地の活性化に関する相談対応 相談件数163件

○定住推進にかかる補助金に関する相談対応 相談人数448人

○まちづくり団体への技術的支援 会議等 計24回

○中心市街地活性化基本計画の推進にかかる支援

・視察対応：計6回(市からの依頼)

・新規出店調査：令和5年8月(前回：令和3年6月)

調査エリア…若宮町通り(北)、金華橋通り(西)、金宝町通り(南)及び
御鯨街道(東)で囲まれた約28ha

新規出店数…256店(平成26年9月～令和5年8月)

○情報発信による支援

- ・テレビ番組を活用した情報発信 制作/OA回数 12回

ぎふチャン「めっちゃぎふわかるてれび」めっちゃまちづくりコーナー

- ① 4月28日(金) 柳ヶ瀬を盛り上げるアイドル「蜂蜜★皇帝」の活動に密着！
- ② 6月2日(金) 「岐阜の地酒で乾杯2023」レポート
- ③ 6月30日(金) 新たなランドマーク「柳ヶ瀬グラスル 35」に期待【前編】
- ④ 7月28日(金) 新たなランドマーク「柳ヶ瀬グラスル 35」に期待【後編】
- ⑤ 9月1日(金) 再整備されたセントラルパーク「金公園」
- ⑥ 9月29日(金) ロイヤル劇場応援プロジェクト
- ⑦ 10月27日(金) 「伊奈波のまちづくり 続編(イベント出店→実店舗へ)」
- ⑧ 11月24日(金) 「柳ヶ瀬日常ニナーレ① パートナー目線(マーケティング)」
- ⑨ 12月22日(金) 「柳ヶ瀬日常ニナーレ② プログラム紹介」
- ⑩ 1月26日(金) 「まちなかの研究室の活動」
- ⑪ 2月23日(金) 「ホワイトデー」中心市街地のスイーツを紹介
- ⑫ 3月22日(金) 「新年度/新生活に関連するお店」

- ・商店街等向け情報誌「まち.みせ.NAVI」の作成 発行回数2回

Vol.08 2023年秋号(2023年9月) 1,500部

Vol.09 2024年春号(2024年3月) 1,500部

(2) リノベーションまちづくり推進業務

新たな中心市街地活性化基本計画の方針である「時間を消費したくなるような魅力づくり」のため、中心市街地の核である柳ヶ瀬エリアにおいて、憩い・潤い・安らぎを日常化することでエリアの価値向上を図った。

創業・起業を目指す人や当事者意識を持ってまちづくりに関わる人が集まり始めた柳ヶ瀬に、まちと多様に関われる機会を与え、新たなまちづくりの担い手(興味・参加型)の育成、創出を導いた。

具体的には、まちづくりに興味のある人たちに、まちの新旧の様々な資源(店舗・人・空間・歴史・文化などの魅力)を活かした体験プログラムを提供することを通して、まちづくりの担い手の育成、裾野拡大につなげた。

また、まちと関わる人たちが交流できる機会を設け、コミュニティ形成へとつなげた他、リノベーションまちづくりの機運を維持するための啓発イベントを行った。

○柳ヶ瀬日常ニナーレ

開催期間：令和5年11月19日(日)～12月31日(日)

開催場所：柳ヶ瀬商店街および周辺エリア

プログラム数：56(パートナー総数110人) (前年度：49(パートナー総数117人))

参加者数：436人 (前年度：367人)

○やながせテーブルトーク

- ・第1回「東京⇄岐阜⇄柳ヶ瀬」今尾 真也氏

開催日時：令和5年5月10日(水)19:00～21:00

開催場所：喫茶 星時

参加人数：23人

- ・第2回「まちとビールとマリアージュ」東 恵理子氏

開催日時：令和5年7月12日(水)19:00～21:00

開催場所：DAILY こやなぎ

参加人数：20人

- ・第3回「これからの観光って」飯田 圭氏

開催日時：令和5年9月13日(水)19:00～21:00

開催場所：DAILY こやなぎ

参加人数：20人

- ・第4回「まちをつづけるって？」松本 耕太氏

開催日時：令和5年11月8日(水)19:00～21:00

開催場所：旧 江戸ッ子

参加人数：21人

- ・第5回「本物ってなんだろう」水野 雅文氏

開催日時：令和6年1月10日(水)19:00～21:00

開催場所：旧 江戸ッ子

参加人数：18人

- ・第6回「あたりまえを愛でよう」白石 実果氏

開催日時：令和6年3月13日(水)19:00～21:00

開催場所：旧 江戸ッ子

参加人数：16人

○リノベーションまちづくり講演会

開催日時：令和5年12月9日(土)15:00～16:30

開催場所：ロイヤル劇場ビル やながせRテラス

講師：能作 淳平 氏

junpei nousaku architects(ノウサクジ ユンパ ｲｰｹｸｸ)代表

演題：地域で育てる「みんなのコンビニ」にみる、
これからの時代のネイバーフッドデザイン。

参加人数：56人

(3) 中心市街地まちづくり活動事業

まちなか活性化活動拠点運営事業として、柳ヶ瀬エリア内のロイヤル劇場ビルの一部を借上げ、各種団体の活動発表や展示、ワークショップ会場等の活用のもととして「レンタルスペース」の運営を行った。

加えて、パブリックマインドを持った人たちの交流の場として「やながせRテラス」の活用促進を図るとともに、一部空間を用いて、まちライブラリー(持ち寄っ

た本を共有する小さな図書館)、授乳室やおむつ交換スペース、休憩スペース等の公益機能を提供するほか、中心市街地活性化に関する取り組みの情報提供、相談対応等を行う窓口を開設した。

○レンタルスペース(3,4階)

利用状況：182件 23,572人 (前年度：178件 30,311人)

○やながせRテラス(2階)

利用者数：17,041人(前年度19,544人)

内、ロイヤルヨンマル(1,2Fの空き区画をリノベーションしたスペースへの出店者)

利用状況：25件 601人(前年度：31件 796人)

3 緑化推進事業

(1) 緑化推進事業

① わが家のシンボルツリー無料配布

家の新築や新築住宅購入のお祝いに、記念樹を無料配付した。

○配付本数：498本 881,496円 (前年度573本 1,020,965円)

前期 令和5年11月26日 222本

後期 令和6年3月3日 276本

※植物活性剤(メネデール)及び啓発冊子「花と緑のある暮らし」、
「みどりのまち便り」を配付した。

② 花飾り講習会の開催

市民を対象に年4期(8日/12回)開催し、体験教室を通して花の栽培、生育に係る知識の普及を図った。参加者には、「花と緑のガーデニングノート」等の啓発冊子を配布することにより、家庭における緑化を推進した。

○実施日及び参加者数：計420人(前年度560人 ※年5期(10日/16回)開催)

参加者内訳 ① 5月17、18日(午前、午後) 140人

② 9月26、27日(午後) 70人

③ 12月6、7日(午前、午後) 140人

④ 3月13、14日(午後) 70人

③ 樹木医診断の実施

民有地緑化の主となる樹木の適正な維持管理に努めるとともに、市民からの依頼に基づき樹木医を派遣して相談に応じるほか、保存樹・保存樹林の定期健康診断を実施した。

○診断件数：40件 1,224,000円(前年度45件 1,377,000円)

④ 市民活動団体への活動支援

緑化等の普及啓発活動に資する市民活動団体に対して、南部、北部、西部コミュニティセンターで講習会等を実施し、春季に花壇用の肥料、秋季にチュー

リップの球根と「花と緑の Q&A」や「花と緑のガーデニングノート」の冊子を配付した。また、団体が管理する花壇へ花苗を配付した。

○ふれあい花壇団体交流会

春季：参加団体 136 団体
参加者数 136 人
参加者内訳 5月30日 39人、31日 54人、6月2日 43人
秋季：参加団体 142 団体
参加者数 142 人
参加者内訳 10月 3日 51人、4日 54人、5日 37人

○ふれあい花壇団体への花苗配付

春季：サルビア、マリーゴールド
秋季：パンジー 合計約 90,000 株配付

⑤ 保存樹等管理者講習会の開催

保存樹・保存樹林の所有者や管理者を対象に「樹木の日常管理（倒木事故について）」と題して、樹木医による講習会を実施し、植物活性剤（メネデール）及び啓発冊子を配付した

○7月20日 南部コミュニティセンター 29人（前年度 33人）

(2) 緑化普及啓発事業

① 保存樹・保存樹林の適切な維持管理

市が指定した保存樹、保存樹林の所有者又は管理者を対象に、それらの維持管理費用の一部を補助した。

○保存樹・保存樹林の補助金交付事業

登録数：保存樹 60 件 保存樹林 20 件
保存樹 51 件 324,000 円（前年度 54 件 339,000 円）
保存樹林 20 件 490,000 円（前年度 20 件 490,000 円）

※保存樹 60 件のうち9件については、補助金が無くても適正管理が可能とのことで、補助金を辞退された。

② 各種奨励補助金の交付

生け垣づくり・張芝・地域緑化・環境緑化等を奨励するために施工費の一部を補助した。また、岐阜市自然環境の保全に関する条例に規定する団体に対し、財政的な支援として補助金を交付した。

○張芝奨励補助金 10 件 281,000 円（前年度 18 件 529,000 円）

○生け垣づくり奨励補助金 2 件 24,000 円（前年度 2 件 40,500 円）

○自然環境保全活動団体支援

8 団体 510,000 円（前年度 8 団体 510,000 円）

③ 花と緑のフェスティバル「フローラリー岐阜」の開催

花と緑に関心を深めてもらうイベント「フローラリー岐阜」を、実行委員会事務局として岐阜市などの協賛団体と開催した。

開催日時：令和5年4月29日(土)10:00～15:00

開催場所：長良公園

④ ふれあい緑化フェアの開催

「花と緑のまちづくり～ひとつの種からみんなの心も花いっぱい～」をテーマに、第13回岐阜公園ふれあい緑化フェアを開催した。

開催日時：令和5年10月28日(土)10:00～14:00

開催場所：岐阜公園

⑤ 夏休み子ども寄せ植え教室の開催

「子どもたちが緑や花とふれあい、ガーデニングの楽しさを知り、岐阜のまちを緑あふれる未来に繋げたい」をコンセプトに寄せ植え教室を開催した。

開催日時：令和5年7月29日(土)14:00～15:30

開催場所：南部コミュニティセンター

参加人数：7組14人

(3) 緑化基金造成、管理業務

財団が主催するイベントや参加するイベントにおいて、基金の募金活動を行ったほか、緑化啓発パンフレット、種子や花の配布を実施した。また、**岐阜市役所**28部署の職員等から寄付を受け、謝礼品の球根（チューリップ）を配付した。

○一般募金額 総計 127,310 円（前年度 144,678 円）

- ・第51回道三まつり R5. 4. 1 15,900 円（前年度 26,078 円）
- ・フローラリー岐阜 R5. 4. 29 22,000 円（前年度 0,0 未開催）
- ・シニアワークフェア R5. 10. 25 14,800 円（前年度 36,000 円）
- ・第13回ふれあい緑化フェア R5. 10. 28 14,600 円（前年度 18,300 円）
- ・ぎふ信長まつり R5. 11. 4 20,000 円（前年度 25,000 円）
- ・梅まつり R6. 3. 2 40,010 円（前年度 39,300 円）

○岐阜市職員等寄付金

1,028 口 517,092 円（前年度 1,039 口 588,350 円）

○緑化基金現在高

前期末残高 303,624,554 円

当期増加高 3,142,044 円

（基金運用収入 2,497,642 円 募金収入 644,402 円）

当期減少額 2,949,348 円

当期末残高 303,817,250 円

4 公共施設等管理事業

(1) 梅林公園管理業務

公園の適切な維持管理に努めるとともに、梅の開花時期に合わせてホームページに「梅だより（開花情報）」を掲載するなど広報宣伝に努めた。

- ・梅、モミジ等樹木の剪定、枯れ枝の処理を行った。
- ・芝刈り、藤棚、生垣の維持管理を行った。
- ・梅だよりとして当財団ホームページに週1回程度、計10回掲載した。岐阜市のホームページにもリンクしており、利用者からは好評であった。
- ・市民参画社会形成の一環として地元校区のアダプト・プログラム（梅林公園守る会、D51守る会）の皆さんに清掃用具を貸し出すとともに、園内の清掃・管理を協働で行った。
- ・令和6年3月2日、3日には、市民主体で実施される「第71回ぎふ梅まつり」に実行委員として参画し、募金活動を兼ねて緑化普及啓発事業を行った。

(2) 岐阜公園総合案内所運營業務

岐阜公園内の総合案内所の管理運營業務を行い来園者のサービス向上に努めた。公園を訪れた人が、岐阜の歴史や文化等を感じながら楽しむことができるよう、イベントなどの情報を収集し、案内・情報提供を行った。

開館日数：	360日	（前年度	359日）
来館者数：	67,958人	（前年度	73,333人）
案内者数：	6,510人	（前年度	6,747人）

5 その他の公共施設等管理事業

(1) 岐阜公園等管理業務

岐阜公園の維持管理業務並びに華松軒（和室、茶室等）の管理業務および使用料収納事務を行った。なお、来園者用駐車場管理業務（堤外駐車場、堤外第2駐車場、大宮町駐車場）及び使用料収納事務について、6月からは受託できなかったため、4月、5月のみとなった。

○岐阜公園来園者環境整備状況等

- ・来園者無料休憩所南側にゴーヤによる「緑のカーテン」を設置し、緑化推進と休憩者に対し涼の提供を行った。
- ・総合案内所及び華松軒の職員に対し接遇研修を実施した。

○市民茶会「茶の湯でわたし時間」

- ・参加者は和菓子やお抹茶を頂き、心静かな岐阜公園での秋のひと時を楽しまれた。

開催日時：令和5年11月11日（土）①10:00～ ②15:00～

開催場所：岐阜公園内、華松軒

参加人数：25人（応募者数：38人 当選者数：30人）

○来園者用駐車場の利用状況 ※令和5年度、4年度ともに4、5月のデータ

・堤外駐車場（収容台数 普通車 143 台）

利用総数	12,679 台	（前年度	14,704 台）
一日平均	208 台	（前年度	241 台）

・堤外第2駐車場（収容台数 普通車 36 台）

利用総数	4,229 台	（前年度	4,917 台）
一日平均	69 台	（前年度	81 台）

・大宮町駐車場（収容台数 バス 18 台、普通車 68 台、障がい者等 12 台）

利用総数	バス	504 台	（前年度	555 台）
	自家用車	12,150 台	（前年度	9,792 台）
一日平均	バス	8 台	（前年度	9 台）
	自家用車	199 台	（前年度	161 台）

(2) 岐阜薬科大学 薬草園管理業務

岐阜薬科大学の指導の下、薬草園の適正な維持管理を通じて、学生だけでなく広く市民に呼び掛けて勉強会を開催するなど、薬草に関する正しい知識の普及に努めた。

○一般公開：5/ 8～10/31 の月・水・金・日（8月と祝日、振替休日を除く）

来園者数 143 人

○特別公開：2/17～ 3/ 8（オウレン観賞）

来園者数 343 人

・標本中央畑他8ブロックにおいて、栽培、除草、清掃、種子採取、収穫、植替え等を実施した。

・管理舎、水草園の維持管理及び温室の室温管理を実施した。

(3) 自動販売機事業等

公園内における自動販売機および岐阜公園内立礼茶席を管理運営して財団の収益に繋げた。

○自動販売機事業：設置数 30 台（前年度 30 台）

収益額 4,355,144 円（前年度 4,766,470 円）

○立礼茶席事業：利用者数 6,890 人（前年度 7,005 人）

収益額 3,405,950 円（前年度 3,338,700 円）

総合計収益額 7,761,094 円（前年度 8,105,170 円）

(4) 金公園イベント等管理業務

公園内におけるイベント等の主催者に対し、物品の貸し出しを行うとともに、園内施設の点検、巡回、主催者への指導等の管理を実施した。

利用件数(日数) 94 件 (73 日)

管理業務収入 536,360 円

6 駐車場 指定管理等事業

(1) 駐車場指定管理業務

岐阜市金公園地下駐車場（145 台収容）の指定管理者として、「運営管理の基本方針」に基づき、『利便性があり、安全・安心で、防災に強い駐車場』を目指し、公平・公正なサービスを提供した。

利用総数：79,395 台（前年度：67,770 台）

一日平均： 216 台（前年度： 185 台）

7 視察対応及び講師派遣事業

これまで財団が関わってきた取り組み・実績等に対する視察や講師派遣等の依頼を積極的に受け入れ、財団の広報公聴活動並びに収益事業として取り組んだ。

視察対応：3 件（前年度：3 件）

講師派遣：6 件（前年度：5 件）

事業報告の付属明細書

令和5年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する付属明細書に記載すべき事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので、これを作成しない。